資料3

三好市　船井電機跡地施設整備基本構想及び基本計画策定

第4回　船井電機跡地施設整備基本計画策定　検討委員会資料

2025/01/28

第１～３回策定検討委員会での議論　を踏まえて、前提となる施設整備の考え方

- **多様な活動を受容し多世代の利用を促進する施設を目指す**
- **施設全体の機能・空間を融合し合理化することを議論する**
- **中心市街地全体での最適化を図る**
- **検討段階から過程を公開し、合意に必要な議論を行う**

再掲載

人口減少が進む中、全国で新設する公共施設が巨大化する傾向があり、
国は計画規模の適正化を促している。

施設巨大化の起因 ⇨

- 大型施設が街の活性化につながるという思想
- 周辺自治体の同様施設との比較
- 少ない建設の機会に折角ならば大きな施設という考え

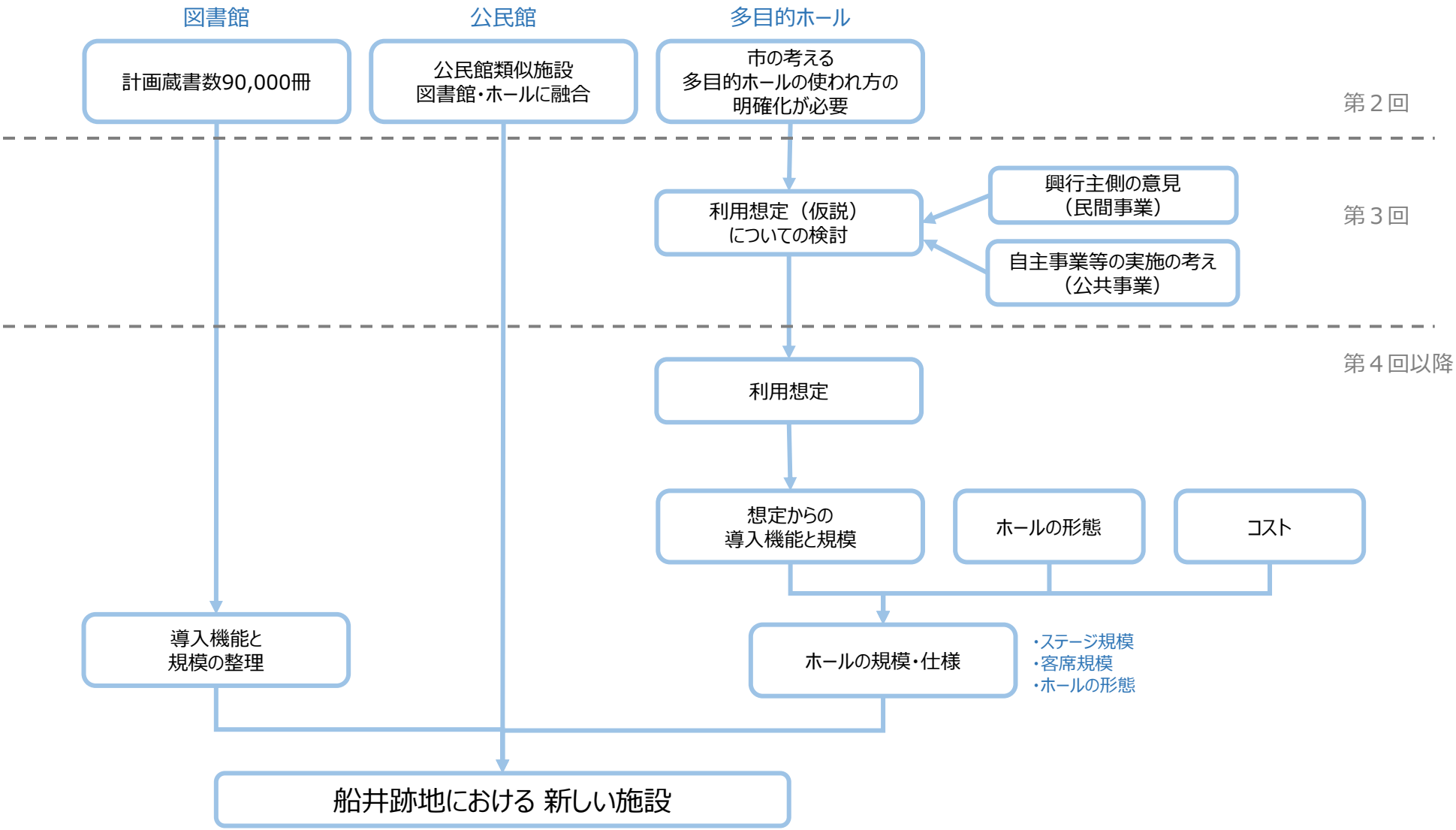
地方都市を持続可能にするには施設の合理化などによる
将来的な人口規模に見合った整備が必要

持続可能なまち ⇨ **施設の合理化** ⇨

- 周辺自治体と公共施設を**共有**
- 施設を**多機能化**する　　など
- 必要機能の**取捨選択**

公共施設 は 量を減らし 質を高める 発想が必要

第４回以降の基本計画策定委員会で目指す議論とゴール



多目的ホール検討

2 多目的ホール　**ホールの使われ方と頻度**

第3回委員会資料P11　再掲載

1.文化・芸術活動

- コンサートや演劇
  地域の音楽イベント、演劇公演、ダンスパフォーマンスなど
- 展示会・アートギャラリー
  絵画展、写真展、手工芸品の展示など

2. 地域イベント

- 地域の集まりやお祭り
  地域住民の集まりや、地域イベント
- 市民講座や講演会
  地域課題についての市民講座、専門家・著名人を招いての講演会など

3. 教育・研修

- 講座やセミナー
  趣味や生涯学習に関連する講座、ビジネススキルの向上を目指すセミナーなど
- 研修会・ワークショップ:
  企業や団体による社員研修、ワークショップなど、学びの場としての利用

4. スポーツ・レクリエーション

- インドアスポーツ
  バドミントンや卓球、ダンス教室など、室内で行うスポーツやフィットネスプログラム
- 健康促進イベント
  地域住民の健康維持を目的とした健康相談会やヨガクラスなど

5. 会議・ビジネス利用

- ビジネス会議・ミーティング
  地域企業や団体が利用する会議室
- 商業イベント・展示会
  地元企業による新商品発表会や展示会、ビジネスフェアなど、商業イベントの会場

6. 地域支援・福祉活動

- 支援センター・ボランティア活動
  地域の福祉活動、支援センターの拠点としての利用
- 避難所としての利用
  災害時の避難所や緊急支援センターとしての利用

7. 特別イベント

- 各種パーティー・結婚式
  地域住民の結婚式や記念日パーティーの会場
- 映画上映会
  地域での映画上映会や、特定のテーマに基づくドキュメンタリー上映イベントなど

想定される使われ方や使用頻度に即した
ホールの計画が必要です

2 多目的ホール　**イベントの想定**

第3回委員会資料P20　再掲載

以下はあくまで事務局想定であり、今後、本委員会により検証し、
委員会案として基本計画として想定にする必要があります

民間興行

民間興行として営利目的のイベント
想定　チケット代　3,000円～5,000円

→
- 市としての収入はホール使用料のみ
- 周辺への波及効果は若干期待できる

想定頻度
年1~2回

市民発表会

市民活動の一環として非営利に行うイベント
演者が出演料を払っているケースが多い
観客チケット代　無料～2,000円

→
- 観客は家族・親類・友人などで300人程度
- 市としての収入はホール使用料のみ

想定頻度
年数回

市主催の興行（自主興行）

市主催の文化事業
市民大学講座

→
- 自治体主催のイベント
- 有料の場合は参加費は市の収入
- 開催に掛かる費用は市負担

想定頻度
年数回

ミニMICE

ミニMICEによる企業イベントの誘致

→
- 市としての収入はホール使用料
- 宿泊など周辺への波及効果は期待できる

想定頻度
年数回

実際の使われ方の想定により施設の必要性能を規定します

2 多目的ホール　一般的な椅子タイプの整理

置き式椅子

置き式椅子で、人力で運んで配置する。以前のパイプイスタイプに比べて軽量化されている。

コスト

- 比較的安価（数万円/席）
  ※グレードによりコストは前後します

座り心地

- シンプルな椅子は座り心地が悪い
  ※グレードによります

メリット・デメリット

- 自由に配置ができる。
- 連結が出来る
- 置かなければ平土間化が可能
- 設置のために人的労力が掛かる

固定式椅子

劇場用椅子で固定されているもの

コスト

- イニシャルコストは高価（20万円/席）
  ※概算値　グレードや機構によりコストは前後します
- 段床とする場合は建築で段床を作る必要がある

座り心地

- 座り心地は良い
- 製品の選択肢が広い
  ※グレードによります

メリット・デメリット

- 配置に自由度が無い
- 平地・段床にも設置可能
- 収納が出来ないため、埃被りや布地の劣化などがある
- 平土間化は出来ない

移動式椅子（ロールバック方式）

移動観覧席などとも呼ばれる。段床席で、収納すると壁面に収納される。昨今は電動で展開収納されるものが多い。

コスト

- イニシャルコストは高価（30万円/席）
  ※概算値　グレードや機構によりコストは前後します

座り心地

- 座り心地は良い
- 製品の選択肢が狭い
  ※グレードによります

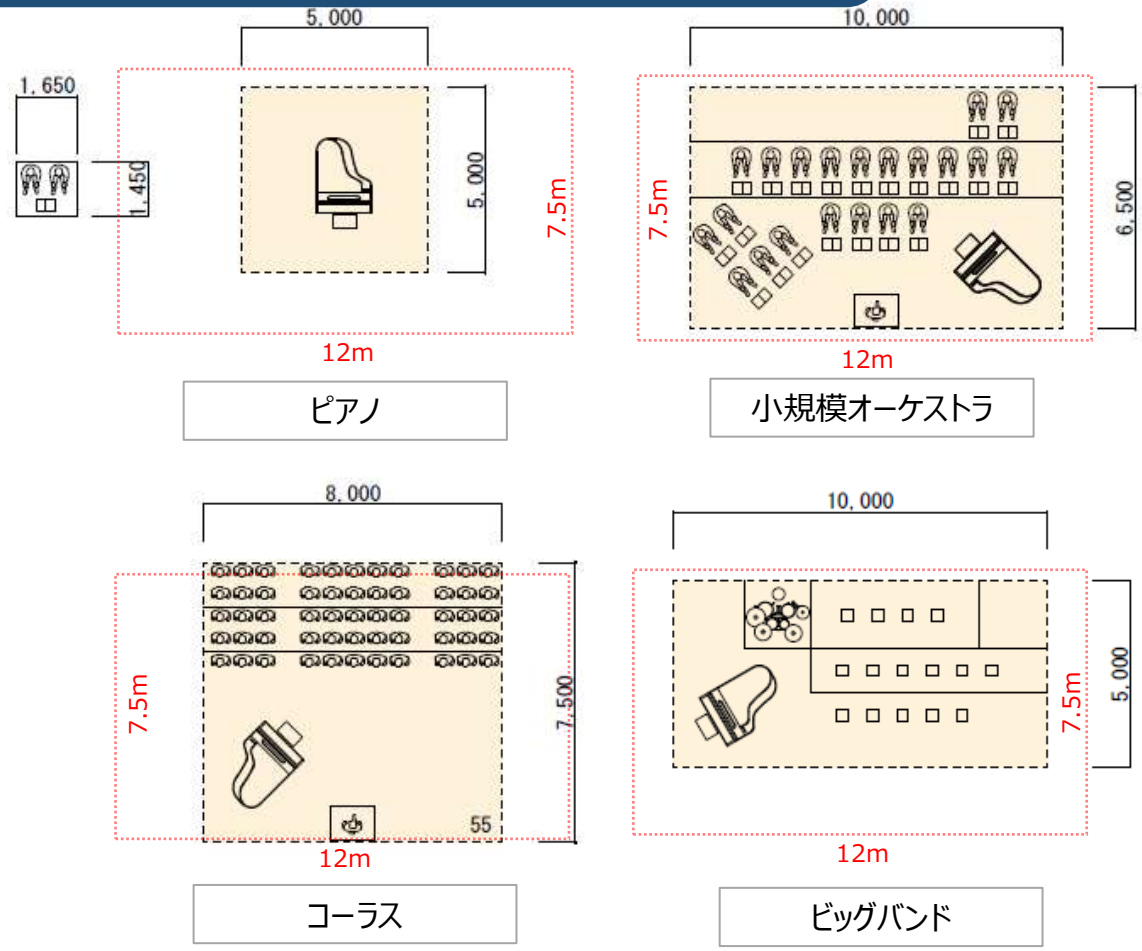
メリット・デメリット

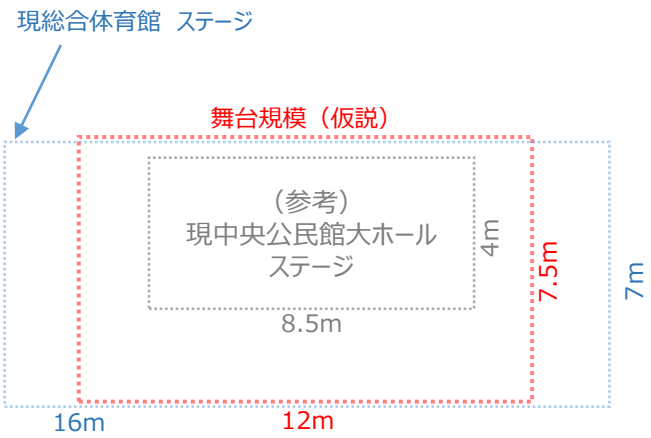
- 展開・収納の形態が選定できる
- 配置に自由度が無い
- 電動であれば、少ない労力で展開・収納が可能
- 定期的な専門メンテナンスが必要
- **平土間化が可能**

本ページの写真出典：コトブキシーティングHP

ホールを多目的に運用する観点では、
空間を可変ができる 置き式 や 移動式椅子 が望ましい。

2 多目的ホール　**舞台の大きさ検証**

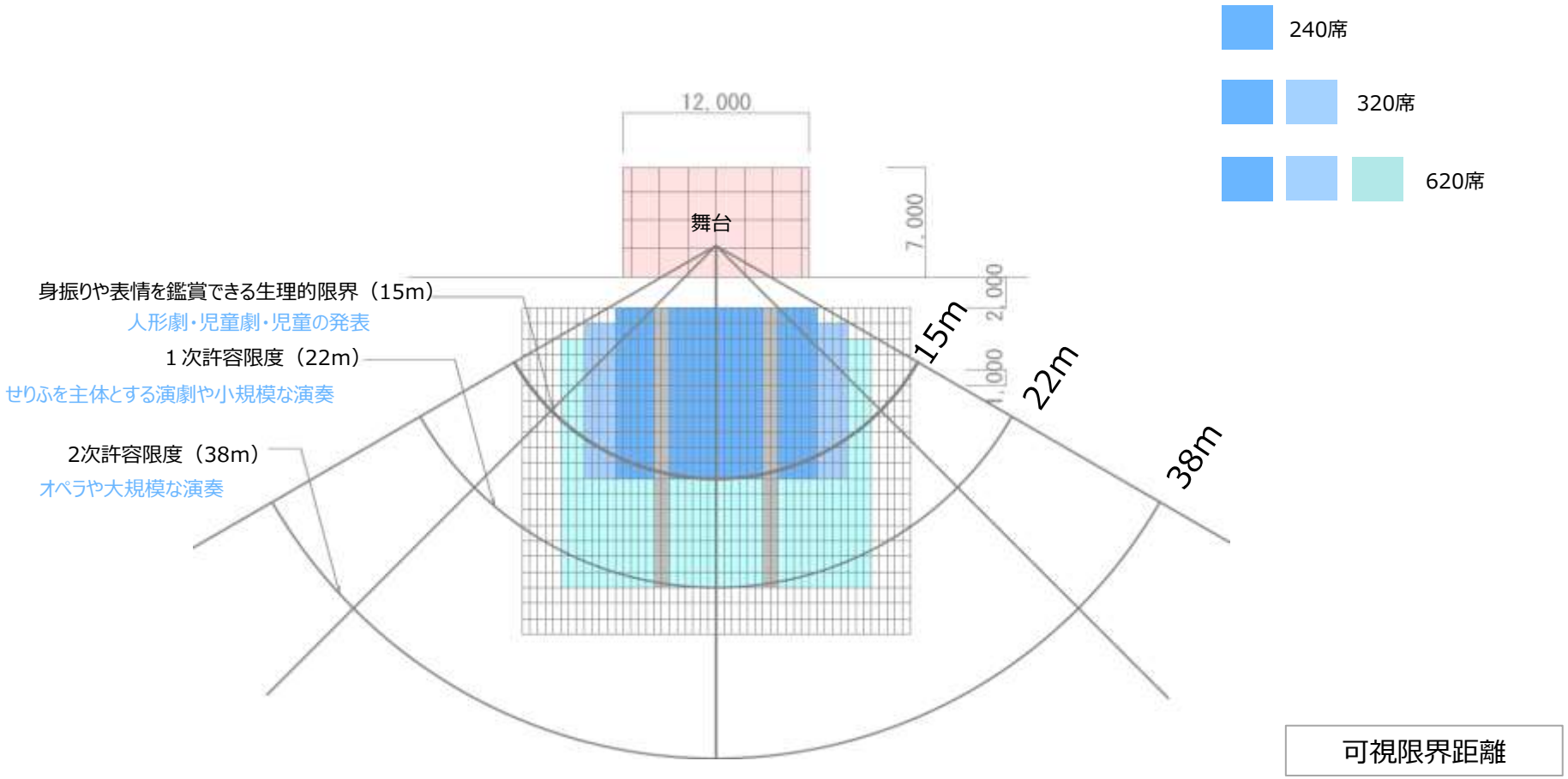




出典：日本建築学会編「建築設計資料集成4単位空間Ⅱ」を基にNCMにて作成

音楽イベントを基にした検証では　W12m×D7～8m　程度の舞台規模が考えられる

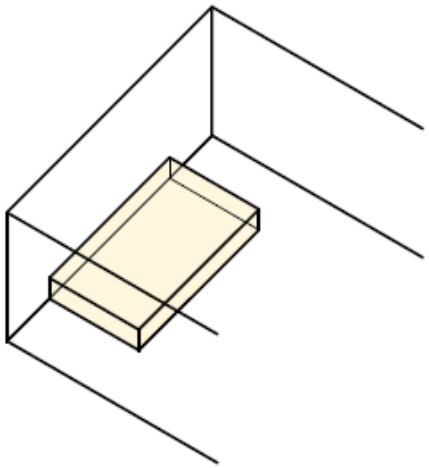
2 多目的ホール　**舞台の大きさ検証**



出典：日本建築学会編「建築設計資料集成4単位空間Ⅱ」を基にNCMにて作成

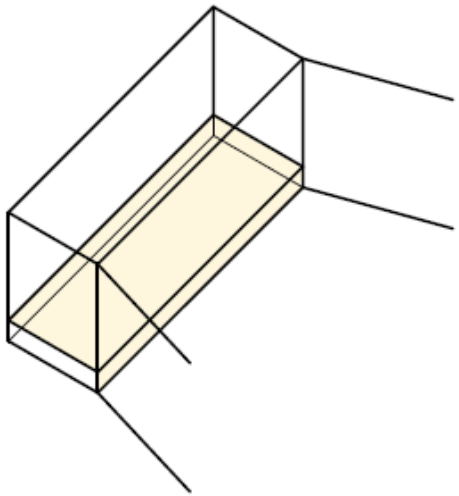
ステージの表情や身振りを視認できる距離には限界があり
市民発表会などでは　ある程度コンパクトな規模が好ましい

オープンステージ（演台タイプ）



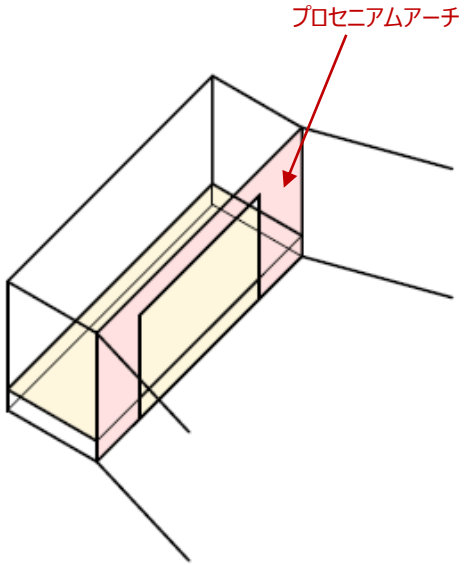
オープンステージの中でもステージ（演台）が独立または可動するもの

オープンステージ



プロセニアムアーチが無いタイプのステージ。音楽専用ホールなど舞台転換の必要が無く、音響に配慮する場合など多く採用される。

プロセニアムステージ



プロセニアムアーチをステージに有する形式をプロセニアム形式と呼ぶ。オペラや演劇など、幕を引く形式の演目で使われる。
学校の体育館・講堂など、簡易なホールでもプロセニアム形式としているものもある。

ステージタイプとホールのグレードは明確にはリンクしない

第3回委員会資料P16　訂正版

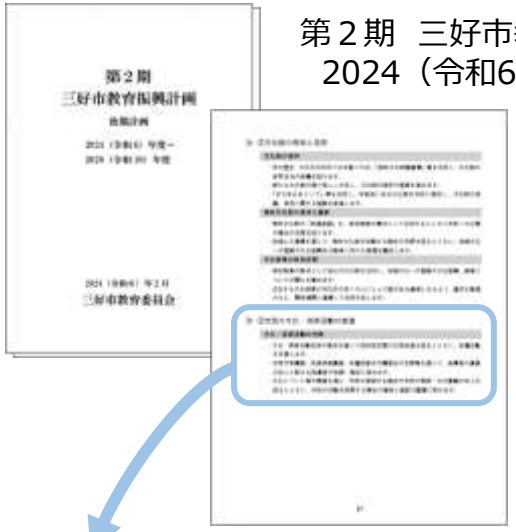
修正箇所

	多機能型	劇場型	
	オープン／簡易プロセニアム	ステージ	プロセミアム/オープン
		舞台機構	
簡易	簡易＋随時仮設	舞台音響	高水準
	簡易＋随時仮設	舞台照明	
	バックヤード 無	後方施設	
	一般内装	内　　装	

軸となる 多目的ホールタイプ を検討

2 多目的ホール　**文化振興の観点からの多目的ホール整備**

第3回委員会資料P17　訂正



第２期　三好市教育振興計画　後期計画
2024（令和6）年度～2028（令和10）年度

33ページ
（２）魅力ある文化振興の推進
③市民の文化･芸術活動の推進
【抜粋】

▶ ③市民の文化・芸術活動の推進

文化・芸術活動の充実

- 文化・芸術活動団体の育成を通じて団体相互間の交流促進を図るとともに、各種活動を支援します。
- 市民大学講座、生涯学習講座、各種研修会や講習会の充実等を通じて、指導者の資質の向上と新たな指導者の発掘・育成に努めます。
- 文化イベント等の開催を通じ、市民が参画する機会や市民の芸術・文化意識の向上を図るとともに、市民が活動を発表する機会の確保と施設の整備に努めます。

300席以上、500席以下が妥当

機能グレードや規模に見合った
ホールが望ましい

各諸室を楽屋などバックヤードとして利用

- **中央公民館4階ホール**での最大収容人数は300程度であり、**300人を超える動員実績**がある。
- **500人を超える動員人数が見込まれる事業**を実施する場合、隣接する三好市**池田総合体育館メインアリーナ等を活用**。
- **市民の文化･芸術活動の質向上に大きく寄与する**、**グレードや規模に見合ったホール**が望ましい。
- **各諸室**を**楽屋等バックヤードとして利用**しやすくなるよう工夫して配置･整備。

修正箇所

災害時の想定

3 新施設　新施設の災害時の活用可能性の検証

第3回委員会資料P24　訂正

	三好市の災害想定	災害時の計画地の状況	災害時に期待できる機能	
			避難所	物流拠点
大地震時（直下型）	大きな被害が発生	震源地である場合は接近が危険	×	×
大地震時（プレート型）	最大震度６弱　津波被害なし	大きな被害はなく利用できる	○	○ 物流動線の確保が必要
外水氾濫	被害予想無し			
内水氾濫	溜池の氾濫	計画地が水没している恐れがある	×	×
暴風	台風などの異常気象	池田地区と同じ被害	○ 台風通過後	○
崖崩れ・土石流・地滑り	敷地近くまで土砂崩れの被害あり	計画地付近が被害を受けている恐れがあり接近が危険	×	×
豪雪	異常気象のための豪雪	山間部より被害は少ないと思われる	○	○
竜巻				
火山の噴火	被害予想無し			
大規模火災	中心市街地は木造建屋が密集しているので大火災のおそれあり	計画地は密集地から離れているので災害時に機能する	○	○

※本検証は、各災害時に利用できるか否かの検証であり、利用方針を示しているものではありません。

○：想定災害時に、利用可能な機能
×：想定災害時には、利用できない機能

修正箇所

第3回委員会資料P25　再掲載

災害時における施設の役割

- 船井電機跡地施設整備基本構想では、その位置づけとして、『広く市内の暮らしを支える中心市街地の拠点性を持続していくため「立地適正化計画」に準拠する』こととしている。
- これを踏まえ、災害時においても同様に、市内山間地域等における土砂災害や雪害等により**被災した地域を支える機能** を想定する。

災害時における具体的な機能

- 市内山間地域における災害の発災以降における支援人材や支援物資の**集配拠点**としての機能
  →中心市街地の被災は別途検討
- 隣接する広域避難所として指定される池田総合体育館での避難生活や運営を支える **バックヤード**（生活物資保管所等）としての機能
  →天井吊り物が落下へ配慮が必要
- 駐車場は「現在の幅広い利用需要への対応」とともに、仮設住宅への転用や自衛隊等の受け入れなど災害支援活動を支える **根拠地** としての機能
  →敷地活用としては、災害時も一定規模の駐車施設での活用を見込む